

2020年度(2020/4-2021/3)

事業報告書



一般社団法人日本パラアイスホッケー協会

1. 2020年度(2020-2021シーズン)目標

・2021年世界選手権Bプール2位以上

・ガバナンスコード適合性審査通過

2. 主な実施事業(選手強化・次世代育成・J-Star・大会開催・競技普及)

1) 日本代表候補選手強化事業/JPC競技力向上事業費(強化指定選手強化事業)

①国内強化合宿(氷上練習延べ51日/205時間)

合宿名	実施日	実施場所
トライアウト	7/3-5	やまびこ(長野県岡谷市)
第1次強化	7/17-19	やまびこ(長野県岡谷市)
第2次強化	8/8-10	やまびこ(長野県岡谷市)
第3次強化	8/21-23	やまびこ(長野県岡谷市)
第4次強化	9/11-13	やまびこ(長野県岡谷市)
追加①	9/19-22	やまびこ(長野県岡谷市)
第5次強化	10/9-11	やまびこ(長野県岡谷市)
追加②	10/30-11/1	やまびこ(長野県岡谷市)
第6次強化	11/13-15	やまびこ(長野県岡谷市)
第7次強化	11/27-29	やまびこ(長野県岡谷市)
第8次強化	12/18-20	やまびこ(長野県岡谷市)
第9次強化	1/8-11	やまびこ(長野県岡谷市)
追加③	1/22-24	新型コロナ感染症のため中止
第10次強化	2/11-14	やまびこ(長野県岡谷市)
追加④	2/26-28	やまびこ(長野県岡谷市)
第11次強化	3/12-14	ガイシアリーナ(愛知県名古屋市)
第12次強化	3/19-21	ガイシアリーナ(愛知県名古屋市)



氷上練習



氷上でのミーティング



1500m測定



陸上トレーニング(タバタ式)

## ②強化合宿時における感染症予防対策

- ・合宿前2週間の健康管理シート提出(体温・体調・移動場所・接触者の報告)
- ・ドレッシングルームの分散(3箇所)
- ・第9次強化合宿(2021年1月8日～)より、参加者とメディアにPCR検査義務化(付き添いの保護者には抗原検査義務化)
- ・マスク着用と手指消毒及び換気の徹底
- ・練習時のフェースシールド(スタッフ)またはマウスガード(選手)着用の徹底
- ・練習時の電子ホイッスル、マイク及びプロジェクターの使用



ドレッシングルーム1



ドレッシングルーム2



スタッフ用フェースシールド



選手用マウスガード

## ③大会派遣

- ・10月に予定のドイツ遠征及び1月に予定のイタリア遠征共に、コロナ禍のため中止
- ・3月に予定されていた世界選手権Bプールは、コロナ禍のため2021年9月に延期

## ④測定会

目 的：4ヶ月毎に選手の体力測定し、伸び率を数値化して強化に活かす。

実 施 日：筋力測定 2020年11月27・28日(第7次)

氷上測定 2020年7月3・4日(トライアウト)／12月18・19日(第8次)

実 施 内 容：筋力測定／プルダウン・45℃プーリー・Lowプーリー・肘屈曲・肘伸展・握力  
氷上測定／30m×8本インターバル・コーンウィーブ・シュートスピード・

シュートアキュラシー・1500m

通常は年3回実施予定であるが、今シーズンはコロナ禍の影響で測定スタッフの参加が難しく、上記の測定のみとなった。

#### ⑤ 歯科検診およびマウスガード製作

目 的：衝撃時の脳へのダメージ抑制のためマウスガードを製作する。

実 施 日：2020年9月19日・10月10日・10月31日・11月28日

実 施 内 容：スポーツ用マウスガードの製作を多数手掛けている佐藤医師(丸ノ内センタービル歯科)による歯科検診と型取り、仕上がり時の調整

#### ⑥ アンチ・ドーピング講習会

目 的：最新のアンチドーピング情報を提供し、アンチドーピングの重要性を選手に再認識させる。

実 施 日：2021年1月10日(第9次)

実 施 内 容：スポーツファーマシストの笠師先生(アンチ・ドーピング担当)による新規禁止薬物等の情報提供(WEBにて同時配信)



歯科検診及びマウスピース製作



アンチ・ドーピング講習会

#### ⑦ コンプライアンス研修会

目 的：国庫を投入して実施する強化事業に対する責任の再認識と、個々の自覚およびリスクマネジメントの促進。

実 施 日：2021年2月12日

実 施 内 容：大谷弁護士(弊協会コンプライアンス委員長)による「パラリンピアンとしての矜持」と題する講演と、パラリンピック推進ネットワークによる「アスリートのソーシャルメディア活用および炎上リスクについて」と題した良識のあるSNSの取り扱いについての講義(WEBにて同時配信)

#### ⑧ マインドコーチング講習会

目 的：プロのメンタルトレーナーを招き、練習や試合時のマインドセッティング等について講義を受け、今後のパフォーマンス向上に繋げる。

実 施 日：2021年3月12日(第11次)

実 施 内 容：アイスホッケープロチームの心理スタッフによる「最先端の脳科学・認知科学に基づいたパフォーマンスを高めるマインドの使い方」と題した講義

## 2)次世代アスリート育成事業／JPC競技力向上事業費(次世代アスリート育成事業)

### ①育成合宿(氷上練習延べ51日／205時間)

合宿名	実施日	実施場所
トライアウト	7/3-5	やまびこ(長野県岡谷市)
次世代育成①	7/17-19	やまびこ(長野県岡谷市)
次世代育成②	8/8-10	やまびこ(長野県岡谷市)
次世代育成③	8/21-23	やまびこ(長野県岡谷市)
次世代育成④	9/11-13	やまびこ(長野県岡谷市)
次世代育成追加①	9/19-22	やまびこ(長野県岡谷市)
次世代育成⑤	10/9-11	やまびこ(長野県岡谷市)
次世代育成追加②	10/30-11/1	やまびこ(長野県岡谷市)
次世代育成⑥	11/13-15	やまびこ(長野県岡谷市)
次世代育成⑦	11/27-29	やまびこ(長野県岡谷市)
次世代育成⑧	12/18-20	やまびこ(長野県岡谷市)
次世代育成⑨	1/8-11	やまびこ(長野県岡谷市)
次世代育成追加③	1/22-24	新型コロナ感染症のため中止
次世代育成⑩	2/11-14	やまびこ(長野県岡谷市)
次世代育成追加④	2/26-28	やまびこ(長野県岡谷市)
次世代育成⑪	3/12-14	ガイシアリーナ(愛知県名古屋市)
次世代育成⑫	3/19-21	ガイシアリーナ(愛知県名古屋市)

②測定会／歯科検診およびマウスガード製作／アンチ・ドーピング講習会／コンプライアンス研修会／マインドコーチング講習会は、強化合宿に準じて実施

## 3) ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト(J-Star)事業／日本スポーツ協会委託事業

### ①第4期生測定会(1回)

目的：日本スポーツ協会が日本スポーツ振興センターの委託を受けて実施する、未来のトップアスリート発掘事業(J-Star事業)に正競技として参画し、基礎体力などを測定して有望選手を発掘する

実施会場：横浜(11/3) 横浜以外はコロナ禍で中止

実施内容：筋力測定・ヒアリング(2名獲得)

### ②第3期生合宿(7/3～2/26・全14回)

目的：測定会のデータから9名の選手を選抜し、適性を見極めるため強化合宿と同じスケジュールおよび会場で実施(最終的に5名を次世代育成選手として登録)

実施会場：やまびこスケートの森

実施内容：強化指定及び次世代育成選手と一緒に氷上練習と陸上トレーニングを実施

### ③第3期生単独練習会(4回)

目 的：J-Star選手に特化した練習を強化スタッフが指導する

実施会場：アクアリンク千葉(11/22)・ニ子玉川ライズスケートガーデン(12/26)  
LUTZスタジオ(1/16)・三井不動産アイスパーク船橋(2/19)

### ④クラブチーム練習参加(6/14~2/7・全25回)

東京チーム：東大和スケートセンター・アクアリンク千葉・アイスパーク船橋(延べ80名)

関西チーム：西宮アイスアリーナ(延べ17名)



兵庫県から参加の小田島選手



山口県から参加の永井選手

## 4) 体制整備事業／JPC競技力向上事業費(体制整備事業)

### ①メディカルチェック

目 的：JPC強化指定選手の健康状態や使用医薬品把握のため実施

実施内容：医師診断書および基本健康調査書の提出(強化指定選手21名)

## 5) 大会開催事業／一般会計

### ①国内クラブ選手権大会開催

大会名：国内クラブ選手権大会

開催期間：2020年12月5日~12月6日

開催場所：やまびこスケートの森アイスアリーナ(長野県岡谷市)

参加チーム：長野サンダーバーズ・東京アイスバーンズ・ロスパード関西・東海アイス  
アークス(北海道ベアーズの繁泉選手含む)によるトーナメント戦  
優勝・長野／2位・東京／3位・関西／4位・東海



決勝戦(長野 対 東京)



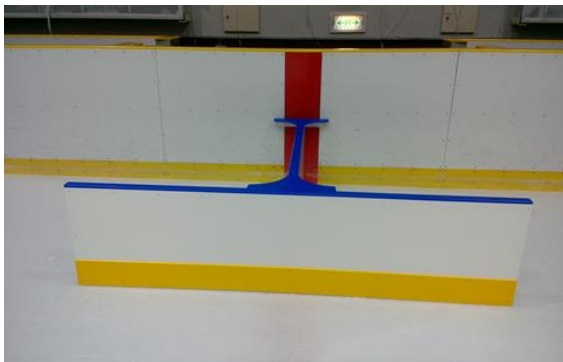
三位決定戦(関西 対 東海)

6) 競技普及事業／日本財団パラリンピックサポートセンター助成金

①スレッジプレーヤー用ベンチ購入

目 的：氷上に設置できるベンチを導入することにより、リンクの仕様変更無しに日本全国どこのリンクでも試合を開催できることを目的に購入

購 入 価 格：1,596,220円(本体 1,384,525円/輸入消費税 189,300円/雑費 22,395円)



### 3. ガバナンス強化事業

#### 1) 協会規程類の見直し

2020年度から競技団体向けガバナンスコード適合性審査が始まることに伴い、法人格取得時(2016年2月)に整備した各種規程類を全面的に見直して再編成を行い、不足している規程類を新規に整備(4~5月)。再編成及び新規作成した規程類の理事会承認を経て、公表が必要なものを協会HPに掲出(6月)。

#### 2) 各種委員会等の設置

- ①ガバナンス強化を目的として、コンプライアンス委員会とアスリート委員会を設置(9月)。
- ②現場における暴力行為、各種ハラスメント、不当な差別等の不法・不正行為の根絶、未然防止、早期発見と早期解決を図るために、通報窓口に関する規程に基づき、弁護士による不正行為等通報窓口を設置(9月)。

通報窓口：大谷和彦弁護士(大谷 & パートナーズ法律事務所)